

平成30年度「事業評価・提案会」評価シート

事業名	土木総務費（狹隘道路整備事業）		款項目	07-01-01		評価責任者	清水 正彦	
担当部	産業建設部	担当課	建設課	担当	管理担当	記入者	広瀬 敦士	
会計	一般会計	事業開始年度	平成17年度	法定根拠・法令等	都留市狹あい道路整備に関する内規			
事業実施方法	一部委託事業		←その他の場合の詳細					

1. 事業概要 (PLAN)

長期総合計画上の位置づけ	まちづくりの方向	1	産業・基盤分野 創ります！しごととくらしの充実したまち
	政策	2	快適で機能的なまちづくり
	施策	1	効率的・効果的なインフラの維持保全
対象者および対象物	※誰に対する事業か。また、何に対する事業か。 幅員1.8m以上、4.0m未満の市道を対象物とする。		
事業内容 手段・手法 ※随時追加	※どのような活動をする事業か。どのようなサービスを提供する事業か。 建築基準法に基づく建築物のセットバック箇所を将来の道路拡幅用地として都留市が寄附を受けるための事業。		
めざす目的・成果	※対象がどのような状態になることを目指すか。 市道の道路交通がより一層、安全で円滑になること。		

2. 実施結果 (DO)

単位：円		平成28年度	平成29年度	平成30年度（見込）	平成31年度	
事業費	予算現額[A]	1,296,000円	1,296,000円	1,296,000円		
	決算額[B]	1,087,398円	824,925円	1,296,000円		
	執行率[B]/[A]	83.9%	63.7%	100.0%		
	事業費詳細 (主な経費を3~5つ)	登記測量業務委託 1,087,398円	登記測量業務委託 824,925円	登記測量業務委託 1,296,000円		
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他特定財源				
		一般財源	1,087,398円	824,925円	1,296,000円	
	財源合計[C](=[B])	1,087,398円	824,925円	1,296,000円		
人件費	一般職員	24人日 618,982円	18人日 466,471円	24人日 621,961円		
	対象外事業分					
	嘱託職員	0人日				
	対象外事業分					
	臨時職員					
	別担当職員					
	人件費合計[D]	618,982円	466,471円	621,961円		
総事業費[B]+[D]	1,706,380円	1,291,396円	1,917,961円			

■指標

指標名	内容説明	単位	単位	H27	H28	H29	H30	H31
安全に通行できる道路	市道全線の幅員4.0m以上の割合	%	目標値		36.6	36.9	37.1	
			実績値	36.4	36.6	37.0	37.0	

3. 事業評価 (CHECK)

項目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
必要性（市民ニーズに照らして市関与の必要）	3	3	3	
有効性（事業実施に伴い成果が出るか）	5	5	5	
効率性（コストを低減し無駄なく実施してるか）	5	5	5	
公平性（一部受益者のみでなく公益的か）	3	3	3	
達成度（目標が実現できているか）	5	5	5	
平均得点	4.2	4.2	4.2	

自己評価

担当者として、左の必要性～公平性までの項目ごとに5段階で評価をしてください。

低い ← → 高い

1	2	3	4	5
---	---	---	---	---

■予算執行状況を踏まえた、事業の目的に対する結果及び成果（具体的な数値も含め記載すること）

平成28年度	年間取得見込件数：4件 寄付申出件数（取得件数）：4件 合計支出：1,087,398円（一件当たり約272,000円） 合計取得道路用地：4か所合計37.08㎡
平成29年度	年間取得見込件数：4件 寄付申出件数（取得件数）：3件 合計支出：824,925円（一件当たり約275,000円） 合計取得道路用地：3か所合計9.34㎡
平成30年度	年間取得見込件数：4件 寄付申出件数（取得件数）：2件（10月26日現在） 合計支出：743,472円（一件当たり約372,000円） 合計取得道路用地：2か所合計25.50㎡

4. 今後の方向性 (ACTION)

どの方向性にするのか1つ○を付けてください	平成30年度予算に向けて			平成31年度予算に向けて			平成32年度予算に向けて			平成33年度予算に向けて		
	コスト			コスト			コスト			コスト		
	削減	維持	増加									
成果の方向性	拡大											
	維持	○			○			○				
	縮小											
具体的な事業費名												

■上記の方向性にするための今後の手段手法を記入してください。

平成30年度予算に向けて	引き続き、土地所有者からの理解・協力を得ながら市内狹隘道路の解消を確実に進めていく。
平成31年度予算に向けて	引き続き、土地所有者からの理解・協力を得ながら市内狹隘道路の解消を確実に進めていく。
平成32年度予算に向けて	引き続き、土地所有者からの理解・協力を得ながら市内狹隘道路の解消を確実に進めていく。

■事業評価・提案会を踏まえた事業の改善策及び今後の方向性

<ul style="list-style-type: none"> <li>現状を推進する。</li> <li>ただし、市民に周知し認知度を高める必要がある。</li> </ul>
<p>【具体的内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>これから建築計画に携わる方々に向けて、事業を知ってもらうためのチラシを作成し、関係する事業者に対して配布する。</li> <li>すでにセットバックした建物を所有している方々に向けて、建築後でも当事業への相談ができるように広報等によりPRする。</li> <li>これらの取り組みにより、建築主に対して当事業への申し込みを検討する機会を漏れなく提供できる。</li> </ul>